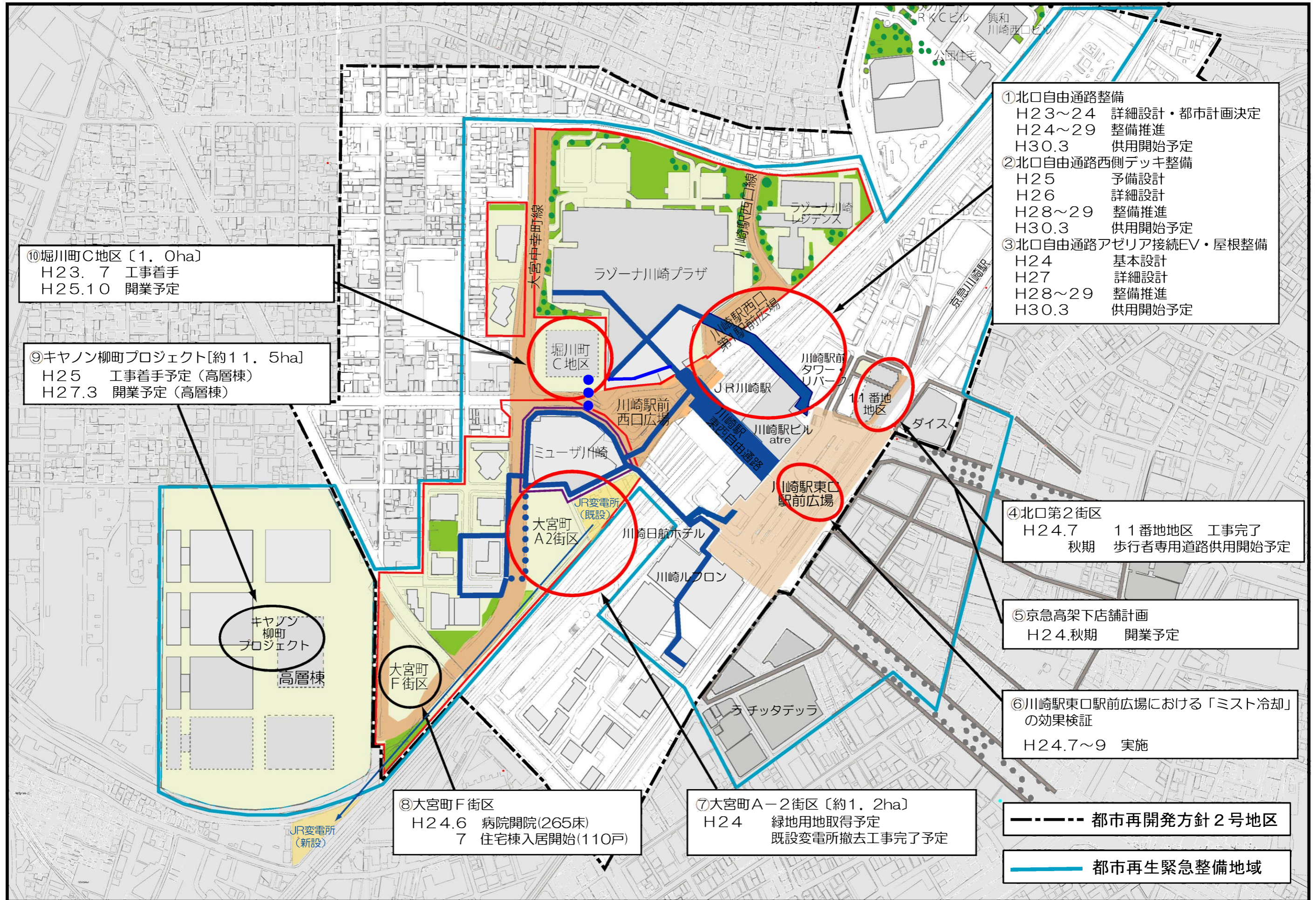


平成24年8月24日
まちづくり委員会資料

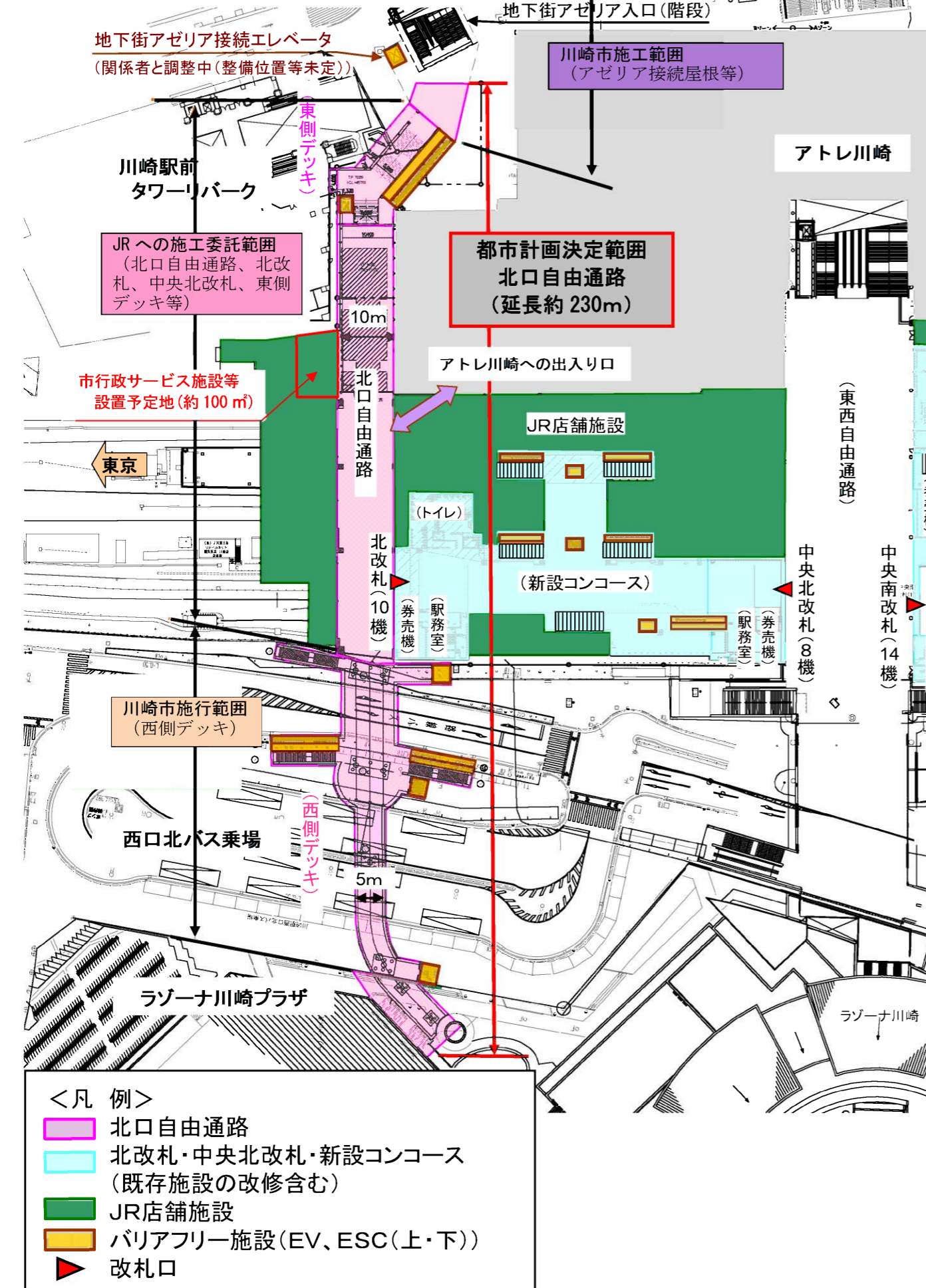
川崎駅周辺地区の開発動向について

<資料>

- 資料1 川崎駅周辺地区開発動向図
- 資料2 川崎駅北口自由通路等整備事業
- 資料3 北口自由通路における施設計画
- 資料4 川崎駅西口地区のまちづくり
- 資料5 川崎駅東口地区のまちづくり



●平面図（新設3階（コンコース階））



●平面図（全体）



●整備スケジュール（予定）

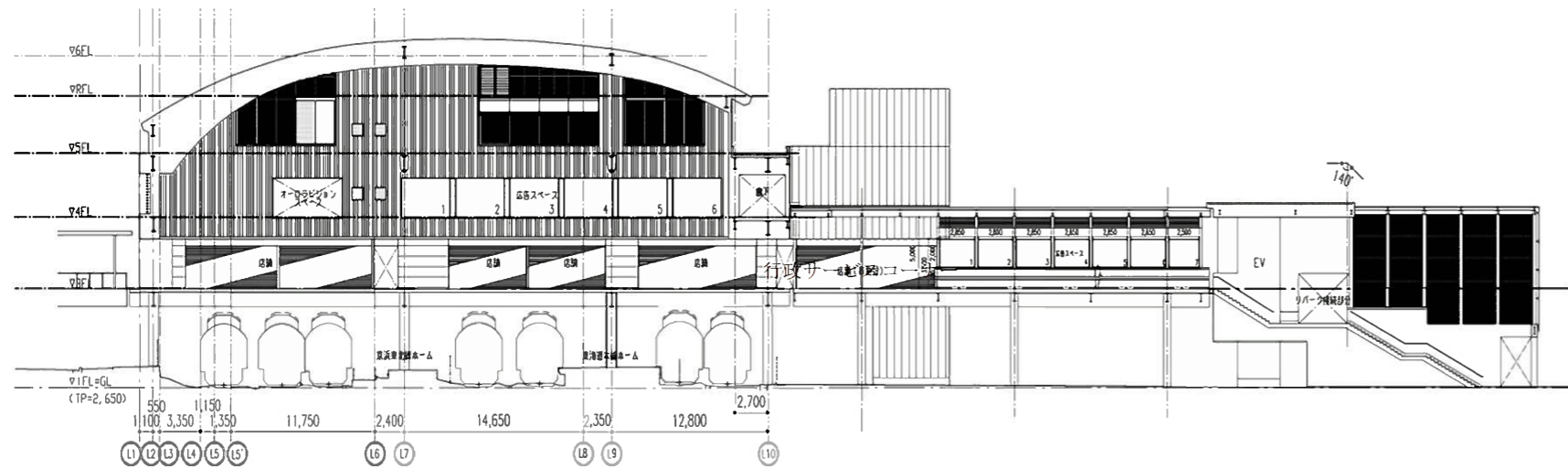
	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
手続き等	都市計画手続き	▼議会承認 ▼JRとの「施行協定」締結					
JR 施行		詳細設計			中央北改札開業▼		北口自由通路・北改札開業▼
川崎市施行			予備設計	詳細設計	支障物移転工事		工事
		基本設計			詳細設計		工事

<凡 例>

- 北口自由通路
- 北改札・中央北改札・新設コンコース
(既存施設の改修含む)
- JR店舗施設
- バリアフリー施設(EV、ESC(上・下))
- 改札口

北口自由通路における施設計画

東京方面 展開立面図



川崎駅東口駅前広場と連携した、誰もが利用しやすく、環境に配慮した施設計画

●ユニバーサル化

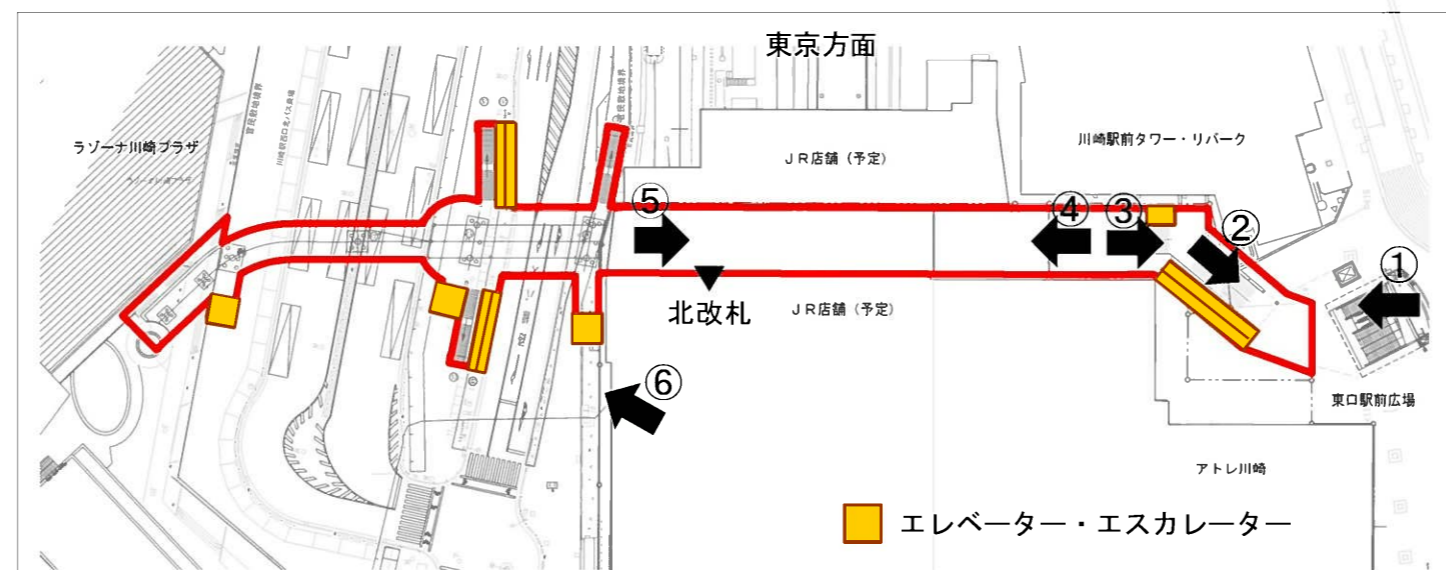
川崎駅東口駅前広場と連携し、一体的な利用ができるよう、エレベーター・エスカレーターの整備や、分かりやすいサイン計画、市の様々な情報発信の場を設けるなど、誰もが利用しやすい施設計画を行います。

●エコ化

環境技術のショーケースである川崎駅東口駅前広場と同様に、LED 照明による省エネルギー化や、ガラス材を用いた自然採光による昼間の消費電力の削減、ガラス面への光触媒を塗装し、メンテナンス頻度の低減化を実施するとともに、太陽電池パネル及び蓄電池による自然エネルギーの活用についても検討します。



⑥ 西側デッキのイメージ



① 東口駅前広場から北口自由通路をみたイメージ



⑤ 北改札付近のイメージ



④ 東側デッキのイメージ



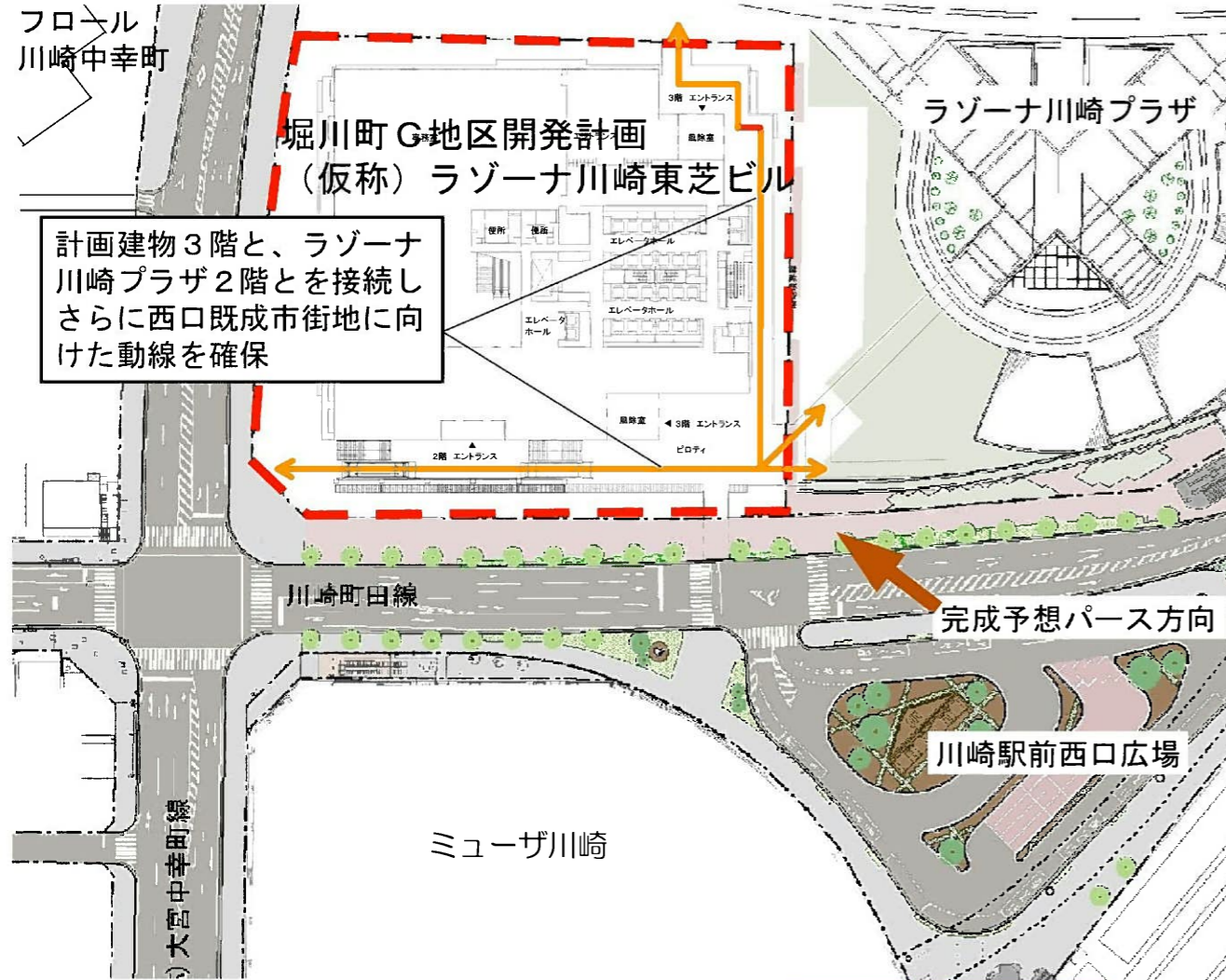
③ 改札階(3階)から東口駅前広場方面をみたイメージ



② リパーク接続階(2階)から東口駅前広場をみたイメージ

※立面図及び各パースはイメージであり、実際の整備内容と異なる場合があります。

堀川町 C 地区



【開発の概要】

●建築計画概要

敷地面積：約 9,766 m² 延べ面積：約 106,200 m²
 建築面積：約 7,777 m² 階数：地上 15 階

●建物用途

- 平成 24 年 5 月に、㈱東芝の社会インフラ部門やクラウドソリューション部門などの移転が発表された。
- 現在、東芝科学館を想定とした展示施設を 2 階部分に導入するため、建物用途の変更手続等を行っています。

●スケジュール

工事着手：平成 23 年 7 月
 開業予定：平成 25 年 10 月

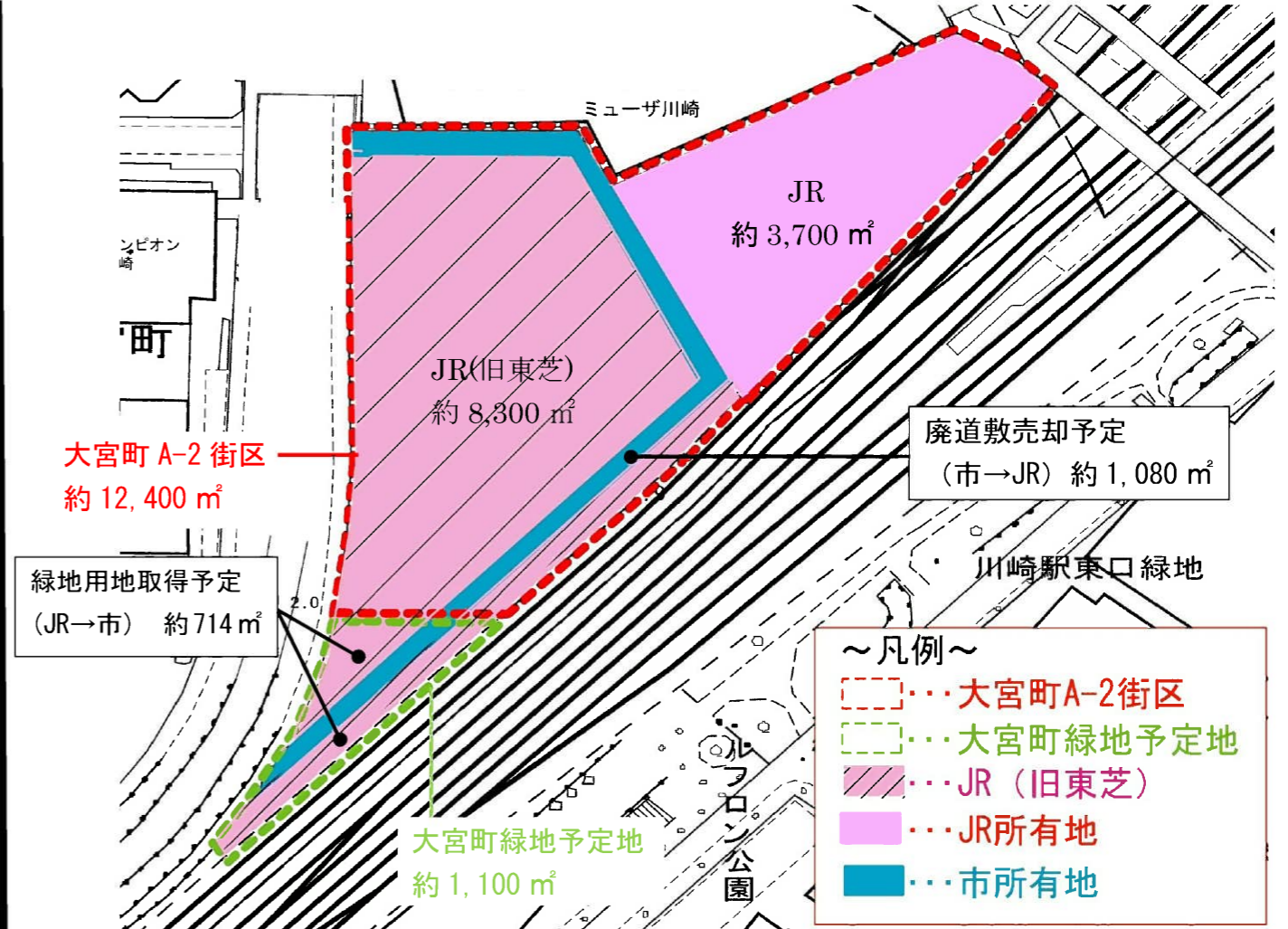


完成予想パース

各階用途	
1F	駐車場(114台)
2F	展示施設(2,720m ²)
3F	エントランス
4F以上	業務

※建物内従業員数約 7,000 人(東芝発表)

大宮町 A-2 街区



【開発の概要】

●「川崎駅西口大宮町地区地区計画」の概要

・地区計画において、大宮町 A-2 街区は業務・商業・文化ゾーンとして、駅前にふさわしい市街地の形成を図るものとしています。

建築物の敷地面積の最低限度：3,000 m² 建築物の容積率の最高限度：950%

地区施設：緑地、ペDESTリアンデッキ等

●土地利用及び建物用途

・地区計画の土地利用に関する基本方針を踏まえ、一体的な街区の形成を図るため、平成 24 年 11 月頃を目途に、市の廃道敷きを JR 東日本に売り払い、同時に地区施設である大宮町緑地用地を JR 東日本から取得します。

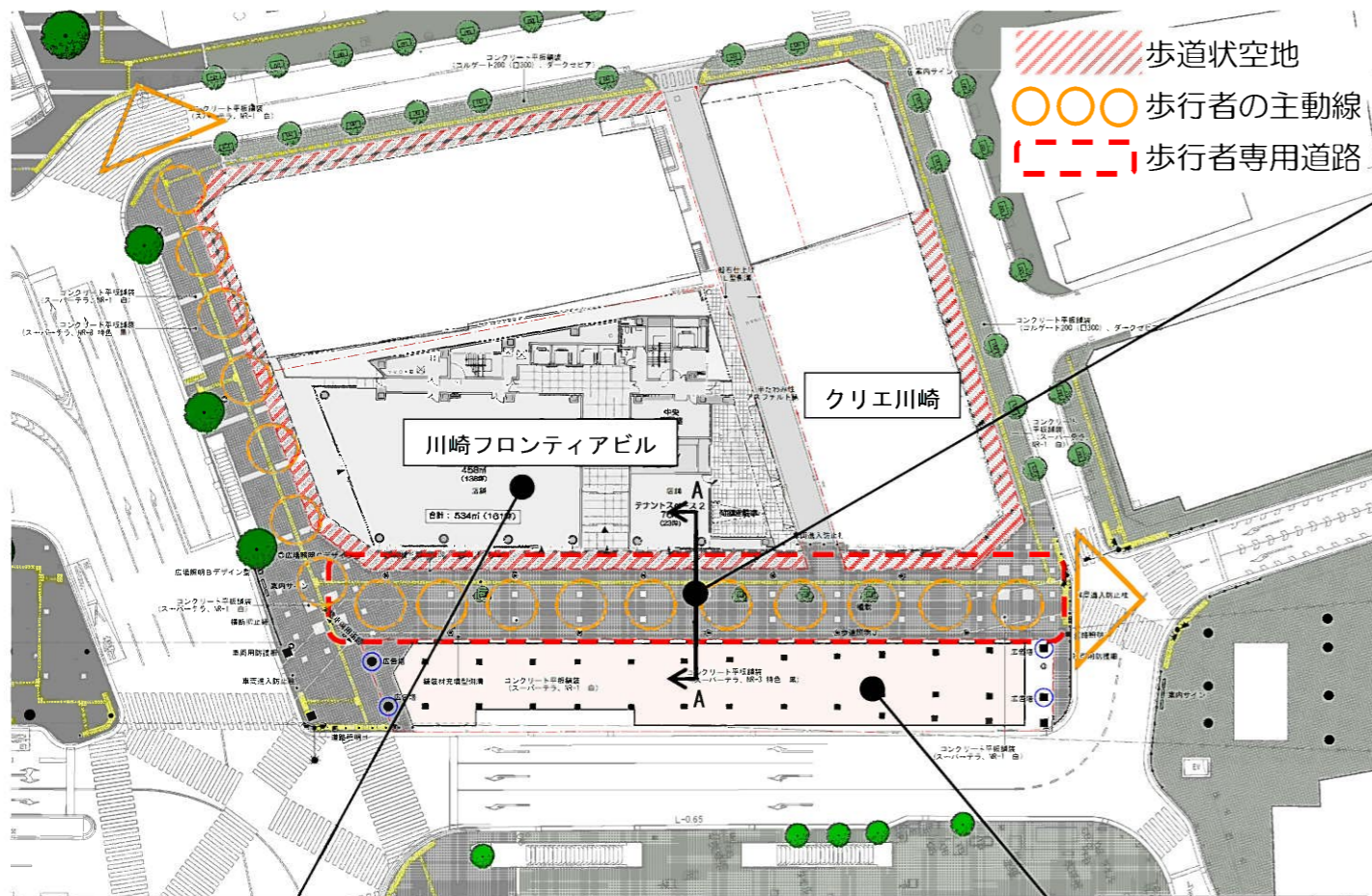
・地区計画の用途に基づき、ホテル・オフィス・コンファレンス機能等、複合施設の検討が JR 東日本により進められています。

●今後の取組み

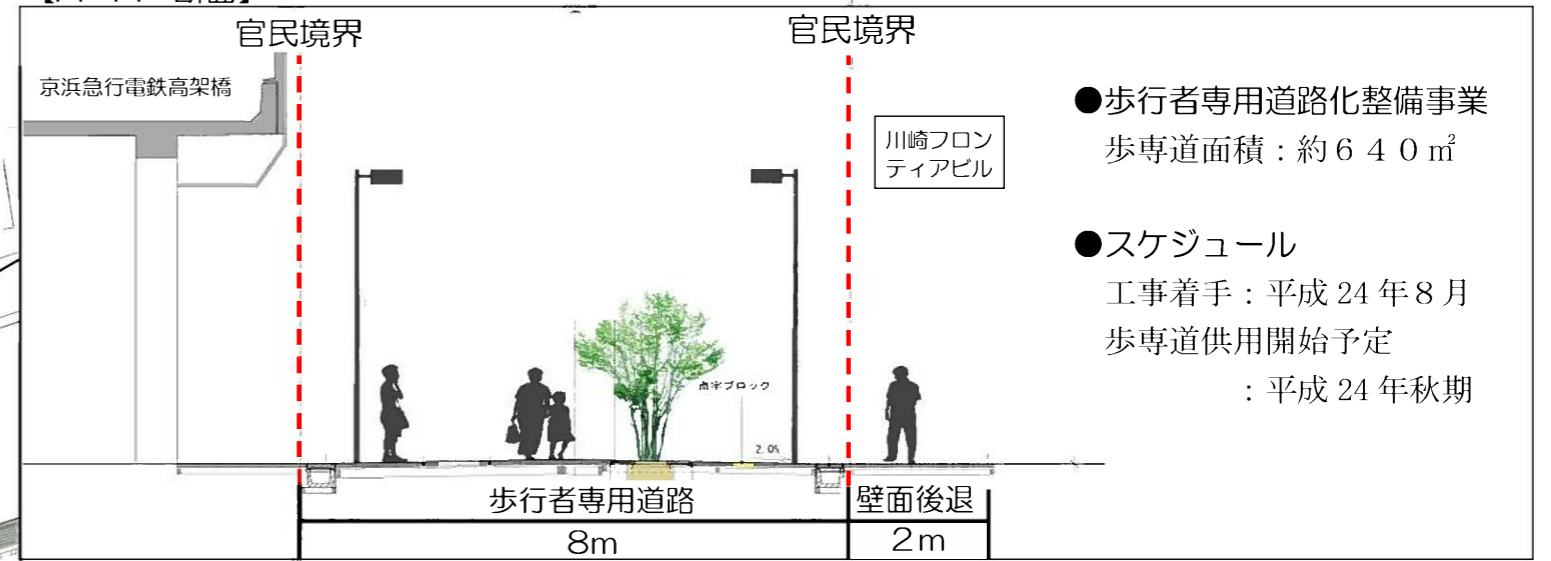
・廃道敷きの売り払い及び緑地用地取得に関する予算については、平成 24 年 9 月補正にて提出予定

・川崎の新たな顔として駅前にふさわしい施設と緑地の整備実現に向け協議を推進

川崎駅北口第2街区周辺地区の開発動向

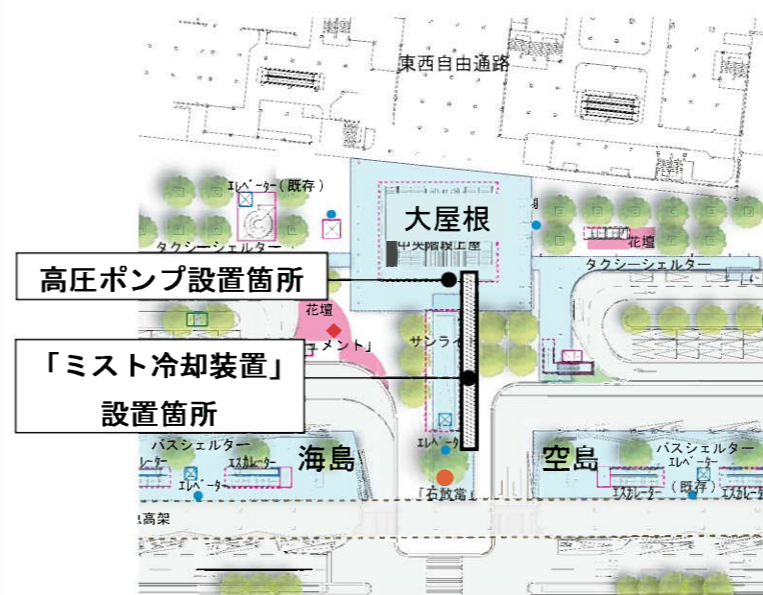


【A-A'断面】



- 歩行者専用道路化整備事業
歩専用面積：約640㎡
- スケジュール
工事着手：平成24年8月
歩専用供用開始予定：平成24年秋期

JR川崎駅東口駅前広場における「ミスト冷却装置」の効果検証の実施



- 川崎フロンティアビル概要
(優良建築物等整備事業)
敷地面積：約1,479㎡
建築面積：約1,037㎡
延べ面積：約14,000㎡
階数：地上12階/地下1階
用途：店舗・事務所
- スケジュール
開業：平成24年8月



- 京急高架下店舗計画概要
敷地面積：約810㎡
延べ面積：約645㎡
用途：食・物販店舗
- スケジュール
工事着手：平成23年12月
開業予定：平成24年秋期

京急高架下店舗整備イメージ



- 目的
「ミスト冷却装置※」を設置し、夏の炎天下における歩行者の快適性の効果検証を行います。
※水を微細な霧の状態にして噴霧し、蒸発する際の気化熱の吸収を利用して地上の局所を冷却する装置
- 実施期間
平成24年7月2日(月)から9月28日(金)まで
- 実施時間
午前7時から午後8時までなお、「ミスト冷却」装置は、気温28度以上かつ湿度70%以下かつ風速3m/秒未満の場合に運転します。
- 効果検証
利用者アンケート調査、ミスト冷却装置周辺の気温、湿度、表面温度(路面、人体)等の測定

